

## 議題(2)

### 久喜市地域公共交通計画の事業状況の報告について

令和 8 年 8 月

久 喜 市

## Ⅰ．地域公共交通計画に位置付けた事業について

### (Ⅰ) 導入事業・施策

久喜市地域公共交通計画（令和7（2025）年3月）において、『久しく喜び合う住みやすいまち 久喜 を支える公共交通システムの実現』を基本理念に掲げ、望ましい公共交通ネットワークの構築並びに計画目標の実現に向け、重点的に取り組むべき事業・施策を以下の14事業に設定している。

#### ■地域公共交通に関する事業・施策

| No. | 事業・施策             | 事業・施策の概要                                                                                                                            |
|-----|-------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ①   | 駅・拠点バス停における環境整備   | 鉄道と路線バスの乗換・乗継拠点、バス停に着目して、バスの乗り換え及び乗り継ぎの利便性を向上することを目的とする。                                                                            |
| ②   | 駅・拠点バス停における待合環境整備 | 鉄道駅や主要バス停において、安全で快適に過ごすことができる待合環境に改善することを目的とする。                                                                                     |
| ③   | 公共交通マップの整備        | 公共交通に関する様々な情報の提供、お出かけ情報等を記述した公共交通マップを作成し、身近な交通手段としての認識を広め、公共交通の利用促進を図ることを目的とする。                                                     |
| ④   | 乗降施設側の案内整備        | 施設側の乗降場案内を改善することにより、公共交通のわかりやすさを向上させることを目的とする。                                                                                      |
| ⑤   | 割引制度の見直し          | 本市が運行する公共交通について、運賃の見直しと合わせて割引制度を見直し、妊産婦を含めこどもから高齢者等の交通弱者に対し、使いやすい料金制度となることを目的とする。                                                   |
| ⑥   | 利用促進キャンペーンの実施     | 埼玉県が実施する「県民の日」や「バスの日」に関するイベント、本市の中心市街地で企画されるイベント等に合わせて、市民や民間事業者等と連携を図りながら、公共交通の利用を働きかけるキャンペーンを実施することにより、公共交通利用者の増加や利用促進を図ることを目的とする。 |
| ⑦   | 予約の取りにくさの改善       | デマンド交通（くきまる）の利用者が、希望する時間に予約がとれるよう、予約が集中する時間帯の情報提供や予約受付体制の見直しを行い、予約の取りにくさの改善を目的とする。                                                  |
| ⑧   | キャッシュレス化の導入促進     | 運賃支払いのキャッシュレス化を促進することにより、利用者にとっての料金徴収時の時間短縮、事業者にとっての運賃箱の更新やメンテナンスにかかる費用の抑制、運転手の現金管理の負担軽減などを目的とする。                                   |
| ⑨   | 公共交通運行内容の見直し      | 本市が運行する公共交通について、地区ごとに利用可能な交通手段が異なる点や本市負担額の増加について、今後の利用実態を踏まえながら、再編を含めた見直しを行っていくことを目的とする。                                            |
| ⑩   | 利用促進方策の検討         | 市内4つの地区の公共交通整備状況に合わせ、各地区における公共交通を有効に活用できる環境を創出することを目的とする。                                                                           |

|   |                     |                                                                                                                                                                  |
|---|---------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ⑪ | パーク&バスライド駐車場の整備     | 交通混雑緩和、自動車事故防止、CO <sub>2</sub> の削減による環境改善などを旨とするため、主要バス停に駐車場を整備して、マイカーから路線バス等や鉄道への乗換えを促進することを目的とする。                                                              |
| ⑫ | 運転手の確保策             | バスやタクシー運転手の更なる高齢化や退職者の増加、労働人口の減少に伴う運転手希望者の減少等を鑑み、今後も持続的に運転手を確保していくことを目的とする。                                                                                      |
| ⑬ | MaaSの導入検討           | MaaS (Mobility as a Service) は、複数の公共交通やそれ以外の移動サービスを最適に組み合わせて検索・予約・決済等を一括で行うサービスであり、移動の利便性向上や地域の課題解決にも資する重要な手段となるものである。本市においても公共交通の課題を解決するため、長期的に取り組んでいくことを目的とする。 |
| ⑭ | AIを活用した公共交通システムの再構築 | 現在運用されているAIを活用したデマンド交通(くきまる)について、他都市の事例等を参考に、さらなる利便性の向上を図ることを目的とする。                                                                                              |

## (2) 久喜市地域公共計画で位置付けた事業・施策の実施スケジュール

施策・事業の実施スケジュールは計画期間を考慮し、下表のように整理している。

### ■事業・施策の実施スケジュール

| 施策内容                     | 実施スケジュール(年度)  |    |    |     |     |     |     |     | 対応する指標  |
|--------------------------|---------------|----|----|-----|-----|-----|-----|-----|---------|
|                          | R7            | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 |         |
| 施策1 駅・拠点バス停における環境整備      | ←             |    | →  | ←   |     |     |     | →   | 指標1     |
| 施策2 駅・拠点バス停における待合環境整備    | ←             |    | →  | ←   |     |     |     | →   | 指標1     |
| 施策3 公共交通マップの整備           | ←             |    | →  | ←   |     |     |     | →   | 指標2     |
| 施策4 乗降施設側の案内整備           | ←             |    | →  | ←   |     |     |     | →   | 指標2     |
| 施策5 割引制度の見直し             | ←             |    | →  | ←   |     |     |     | →   | 指標1     |
| 施策6 利用促進キャンペーンの実施        | ←             |    | →  | ←   |     |     |     | →   | 指標1     |
| 施策7 予約の取りにくさの改善          | ←             |    | →  | ←   |     |     |     | →   | 指標2     |
| 施策8 キャッシュレス化の導入促進        | ←             |    | →  | ←   |     |     |     | →   | 指標2     |
| 施策9 公共交通運行内容の見直し         | ←             |    | →  | ←   |     |     |     | →   | 指標1,2,3 |
| 施策10 利用促進方策の検討           | 可能性検討・関係者との協議 |    |    |     |     |     |     |     | 指標1,2,3 |
| 施策11 パーク&バスライド駐車場の整備     | ←             |    | →  | ←   |     |     |     | →   | 指標1     |
| 施策12 運転手の確保策             | ←             |    | →  | ←   |     |     |     | →   | 指標4     |
| 施策13 MaaSの導入検討           | ←             |    | →  | ←   |     |     |     | →   | 指標5     |
| 施策14 AIを活用した公共交通システムの再構築 | ←             |    | →  | ←   |     |     |     | →   | 指標5     |

←→ : 検討    ←→ : 実施

### (3) 成果目標

計画目標の達成状況を確認するため、計画目標・施策内容に対し以下の目標値を設定している。

■成果指標の目標値

| 指標                                  | 設定根拠                                                                       | 検証項目                          |                                                                    | 現状値<br>R5 年度<br>(2023)     | 目標値<br>R14 年度<br>(2032)   | 入手方法              |
|-------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------|-------------------------------|--------------------------------------------------------------------|----------------------------|---------------------------|-------------------|
| 指標 1<br>公共交通の<br>利用者数               | 公共交通の環境整備<br>や利用しやすさの向<br>上により、公共交通の<br>利用者数が増加して<br>いくことを把握               | 1日当たりの利用<br>者数                |                                                                    | 5.9 万人<br>(R4(2022)<br>年度) | 6.3 万人                    | 事業者<br>ヒアリン<br>グ  |
| 指標 2<br>公共交通<br>の満足度                | 公共交通の利用環境<br>やわかりやすさの改<br>善により、利用者の不<br>便さや不満に感じる<br>ことが減少していく<br>ことを把握    | 不便や不満を感じ<br>ていない人の<br>割合      |                                                                    | 38.3%                      | 50%                       | アンケ<br>ート調<br>査   |
| 指標 3<br>市が運<br>行する公<br>共交通の<br>利用頻度 | 市が運行する公共交<br>通の再編や新たな公<br>共施設へのアクセス向<br>上により、公共交通の<br>利用頻度が上昇して<br>いくことを把握 | 公共<br>交通<br>の利<br>用<br>頻<br>度 | 市内循環バ<br>ス<br><br>デマンド交通<br>(くきまる)<br><br>くきふれあい<br>タクシー<br>(補助タク) | 5%<br><br>2%<br><br>4%     | 10%<br><br>10%<br><br>10% | アンケ<br>ート調<br>査   |
| 指標 4<br>採用した確<br>保策の件<br>数          | 担い手確保につな<br>がる取組を行った実績を<br>把握                                              | 担い手確保につ<br>ながる取組を行<br>った実績    |                                                                    | 0 件                        | 1 件/年<br>以上               | 担当課ヒ<br>アリング<br>等 |
| 指標 5<br>新技術導<br>入件数                 | 事業の効率化を図る<br>新技術の導入を行った<br>実績を把握                                           | 新技術の導入を<br>行った実績数             |                                                                    | 0 件                        | 1 件以上                     | 担当課ヒ<br>アリング<br>等 |

※指標 1：鉄道（久喜駅）、路線バス（朝日自動車久喜市内）、市内循環バス、デマンド交通（くきまる）、くきふれあいタクシー（補助タク）の合計値

指標 3：市民アンケート調査（令和 5（2023）年度）の市が運行する公共交通の利用頻度

## 2. 令和7（2025）年度における事業・施策の実施状況について

### （1）事業・施策の実施状況

評価指標に関する検証は、中間年度（令和10(2028)年度）及び最終年度（令和14(2032)年度）に各種アンケート調査を行った上で実施することとしている。

ここでは、重点的に取り組むべき14の事業・施策について、下表に示す通り、令和7（2025）年度末時点での実施状況を整理した。

#### ■事業・施策の状況・結果及び評価

| 施策 | 記載事項                | 実施状況                                                                                                                    |
|----|---------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ①  | 駅・拠点バス停における環境整備     | 久喜駅、東鷲宮駅、鷲宮駅における、必要となる機能等について調査・検討を行った。                                                                                 |
| ②  | 駅・拠点バス停における待合環境整備   | 久喜駅、東鷲宮駅、鷲宮駅における、必要となる機能等について調査・検討を行った。<br>拠点バス停（クリーンセンターなど）での快適な待合環境整備に向けた、検討・施設管理者等との調整を行った。                          |
| ③  | 公共交通マップの整備          | 令和9（2027）年度の整備に向け、他自治体の事例を調査し、検討を行った。                                                                                   |
| ④  | 乗降施設側の案内整備          | 乗降場や施設における情報発信について、その内容や手法の検討を行った。                                                                                      |
| ⑤  | 割引制度の見直し            | 令和6（2024）年9月1日の割引制度見直しにおける利用者への影響や収支率等の分析を行った。                                                                          |
| ⑥  | 利用促進キャンペーンの実施       | 令和8（2026）年度の実施に向け、バス事業者や市内関係者等と協議・検討を行った。                                                                               |
| ⑦  | 予約の取りにくさの改善         | 令和9（2027）年度の実施に向け、利用状況等の精査を行った。                                                                                         |
| ⑧  | キャッシュレス化の導入促進       | 令和9（2027）年度の実施に向け、市が運行する公共交通のキャッシュレス化について、手数料等の経費増加など、費用対効果の検討を行った。                                                     |
| ⑨  | 公共交通運行内容の見直し        | 令和9（2027）年度の実施に向け、市内循環バス（コミュニティバス）の新たな運行体系の協議・検討を行った。                                                                   |
| ⑩  | 利用促進方策の検討           | 各地区の更なる公共交通利用促進を図るため、必要な機能やまちづくりとの連携等について検討を行った。                                                                        |
| ⑪  | パーク&バスライド駐車場の整備     | 令和9（2027）年度の実施に向け、余熱利用施設における看板の配置箇所やデザインの協議を行った。                                                                        |
| ⑫  | 運転手の確保策             | 市内を運行するバス事業者及びタクシー事業者にアンケート及び協議を実施するとともに、埼玉東部消防組合及び市人事課と協議を実施し、運転手募集に係るチラシを作成した。当該チラシについては、令和8（2026）年3月に同組合及び市人事課へ提供した。 |
| ⑬  | MaaSの導入検討           | MaaSについて、先進事例の調査・研究を行った。                                                                                                |
| ⑭  | AIを活用した公共交通システムの再構築 | AIの導入事例（自動運転など）について調査・研究を行った。                                                                                           |

## (2) 公共交通の利用者数の状況

指標1の市が運行する公共交通(市内循環バス(コミュニティバス)・デマンド交通(くきまる)・くきふれあいタクシー(補助タク))、鉄道における1日当たりの利用状況を下表に整理した。

### ■公共交通の利用者数の状況(1日当たり)

| 種類               | 令和7(2025)年度実績 | 令和6(2024)年度実績 |
|------------------|---------------|---------------|
| 鉄道               | 未発表           | 55,834人       |
| 市内循環バス(コミュニティバス) | 408人          | 435人          |
| デマンド交通(くきまる)     | 64人           | 63人           |
| くきふれあいタクシー(補助タク) | 102人          | 98人           |

※市内循環バス(コミュニティバス)・デマンド交通(くきまる)・くきふれあいタクシー(補助タク)の年間運行日は令和7(2025)年度が292日、令和6(2024)年度が293日